

| 議 長 | 副議長 | 局 長 | 次 長 | 係 長 | 係 | 合 議 |
|-----|-----|-----|-----|-----|---|-----|
|     |     |     |     |     |   |     |

## 産 業 建 設 調 査 会 記 録

平成 29 年 1 月 27 日（金）  
 現地視察後 全員協議会室  
 9 時 00 分 ～ 12 時 15 分

【委 員】笹田委員長、飛野副委員長

串崎委員、布施委員、牛尾博美委員、原田委員、牛尾昭委員

【委員外】足立、岡野、柳楽、小川、森谷、野藤、岡本、芦谷、佐々木、道下、田畑、江角

【議長団】議長

【執行部】

（産業経済部）中村産業経済部長、田村産業経済部参事、来原産業経済部企画監、村武産業政策課長、  
 竹中産業振興課長、井上ふるさと寄附推進室長、佐々木広島市場開拓室長、  
 川神農林振興課長（併農委事務局長）、佐々本農林振興課副参事、吉田水産振興課長、  
 石田漁港活性化室長、岡本観光交流課長、倉井産業企画係長

（都市建設部）下垣都市建設部長、河野建設企画課長、吉川建設整備課長、吉田地籍調査課長、  
 坂田維持管理課長、佐々木建築住宅課長、西川建設庶務係長

（地域政策部）岡田プロジェクト推進室長

（金城支所）吉永金城支所長、畑金城支所産業建設課長

（旭支所）田村旭支所長、今田旭支所産業建設課長

（弥栄支所）細川弥栄支所長、後野弥栄支所産業建設課長

（三隅支所）斎藤三隅支所長、永井三隅支所産業建設課長

【事務局】鎌原書記

### 1. 執行部報告事項

- （1）企業立地優遇制度の一部改正について
- （2）平成 28 年度 萩・石見空港利用実績【東京線】について
- （3）地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）について
- （4）ふるさと寄附について
- （5）漁業別水揚げについて
- （6）浜田市緑の基本計画（案）のパブリックコメントの実施について
- （7）JT跡地活用公募型プロポーザルの審査結果について

(8) 市道路線等の現地視察について

(9) 瀬戸ヶ島埋立地における水産事業実行可能性調査の中間報告について

(10) その他

2. その他

## 【議事の経過】

〔 9 時 00 分 開議（東分庁舎前駐車場） 〕

笹田委員長

おはようございます。

ただいま出席委員は7名で、全員出席ですので、直ちに本日の調査会を開催いたします。

それでは、委員の皆様、本日の調査会の流れ等についてご説明いたします。

本日の調査会では、これから9時55分頃まで、議題1の（8）市道路線等の現地視察を、「現地視察行程表」のとおり行い、市役所に戻って、10時00分より議会全員協議会室において調査会を再開し、報告・説明を受ける予定です。

以上ですが、委員の方から、何か質問等ありますか。

（なし）

それでは、このまま現地へ向かいますので、よろしくお願いします。

（2ヶ所現地視察）

〔 視察終了 9 時 53 分 〕

〔 帰庁後、9 時 58 分 再開 〕

笹田委員長

少し早いですが産業建設調査会を再開いたします。本日は竹中産業振興課長と永井三隅支所産業建設課長が欠席と聞いています。

### 1. 執行部報告事項

#### （1）企業立地優遇制度の一部改正について

笹田委員長

執行部から説明をお願いします。産業政策課長。

産業政策課長

（ 以下、資料をもとに説明 ）

笹田委員長

この件について、委員から何かありますか。布施委員。

布施委員

27年度の評価を見ると、26年度は1社で27年度は広島開拓室がありながら0ということで、D評価なんですよね。28年度は予測では2社で各5名ずつくらいは雇用していこうという計画があったと思います。第2次総合振興計画でも平成33年度まではトータル12社を目標にして、雇用人数も雇うんだとやっておられますが、28年度は委員会・調査会の中でも報告があったと思いますが、IOT関連企業やソフト関係企業等も結構出てきやすいようにこの改正だと思いましたが、28年度の実績としては、予定ではどういう状態になっているのか報告していただきたいです。

産業政策課長

28年度について現在の所、案件としてはございません。大変申し訳ございません。

布施委員

無いというのは、この枠にはないけど企業立地としての誘致はあって、この枠としてはそういうものは無いという答弁ですか。

広島市場開拓室長

広島の方で企業誘致活動をやっております。そういった中で今、特に製造業とソフト産業とIT産業を中心に誘致活動を進めています。そういった活動の中で、実際に我々が訪問している企業の中にソフト系産業

|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|          | <p>の業種がございます。そういった中で企業誘致奨励施行規則とか要綱が、県の立地計画認定を受けないと市も受けられない形になっています。当然これは県の業種に合わせていく必要があります。まさにそういったソフト産業の中で浜田に企業誘致の話を進めているようなこともあるので、まだ具体的に決定には至っていませんが実際にそういう案件があって動いているのは確かです。</p>                                                                                                                                                                                                                         |
| 布施委員     | <p>動いているのは確かだけでも契約には至っていないということで、28年度も0という理解でよろしいですか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 広島市場開拓室長 | <p>今現在、実績として上がってはいませんが28年度に誘致が出来る可能性もあるということで、実際に話をしている状況です。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 笹田委員長    | <p>可能性があるのは2社ということでよろしいですか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 広島市場開拓室  | <p>ソフト産業1社については話をさせていただいています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 布施委員     | <p>雇用の面で、企業誘致は非常に大事だと思っています。新規採用にしても高校生の魅力化ということで、地元企業がないということでU・Iターンを勧めても働く所がないのではないかとされていますし。広島開拓室も山陽側の企業に対してアプローチかけておられるのも分かりますが、ここ数年を見ると、声は出すけど浜田へ企業誘致できていないのが現実だと思います。でも他の周辺市町村を見ると、益田はまた違った意味で全国チェーンのコーヒー屋が出てきたり、スーパーが出てきたという噂があります。企業としての成り立ちはなかなか難しいと思いますが、努力していくということで。県がこういう併用採用するから、こういう制度があるからこうしますというのもよく分かりますけど、もう少し、広島市場開拓室もあるのでしっかりと力を入れていただいて1社でも多く、浜田市に雇用の場を創出していただいて、努力していきたいと思っています。</p> |
| 産業経済部参事  | <p>広島市場開拓室を中心として県からの情報もいただきながら、色々企業誘致については積極的に取り組んでいるところです。ソフト産業ではないですが、昨年調査会でも報告させていただきましたが、大規模酪農事業を営んでおられる企業さんについても浜田市への進出が決定したとのことです。これについては製造業・ソフト産業以外の所で、市長が「その他認める事業」の誘致ということで、支援に向けて今準備を進めているところです。雇用も生まれますし色んな面の波及効果も期待できる事業と考えています。こういった面も誘致企業としてカウントしていきたいと考えているところです。</p>                                                                                                                         |
| 笹田委員長    | <p>その他。串崎委員。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 串崎委員     | <p>大変厳しいといった話を聞いたわけですが、改正理由について教えてください。県が改正したからこちらもするという内容だと思いますが、県は28年4月に改正しているのに、何故今の時期なのか、もっと早い時にやるべきではなかったのかとも思いますが、その辺の考え方はどうでしょうか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 産業政策課長   | <p>特にここまで引き延ばした正当な理由はございません。うちの事務が滞っていたためです。大変申し訳ございません。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 笹田委員長    | <p>遅れたことによっては何も問題ないという認識でよろしいですか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 産業政策課長   | <p>はい、そのように認識しております。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

|                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 笹田委員長<br>原田委員                    | <p>その他ありますでしょうか。原田委員。</p> <p>前に話があったと思いますが、ソフト産業に絞られている理由を確認させていただきたいと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 産業政策課長<br>産業経済部長                 | <p>これについては平成23年に島根県の企業立地関係条例施行規則等に合わせて、浜田市も島根県にならった制度を採用したことによっています。</p> <p>これは県の要綱の関係です。元々島根県としては松江・出雲に大規模工場があり、特に斐川は製造関係で誘致も進んだ所ですが、全県下を見る時にI Tにターゲットを絞ったソフトビジネスパークを持っています。ご存知のようにRubyの開発者が松江におられまして、非常にその辺が盛んです。ですからI T関係なら工場が必要だったり100人200人というものではないので、製造業の要綱に全然当てはまらなかった。ところが島根県としては1人でも2人でもそういった頭脳を集積させることによって。全国には色んなそういうまちがあるんですけど、有名なのは四国の徳島ですか、高山町という所ですがI T産業ですごく賑わっている。そういったことも片一方では目指していかないといけないということで、電気代とか家賃とか本当に細々したメニューを作られて、島根県としては製造業と大きくI T企業、I Tのソフトウェア産業の二本柱でやっていこうということでこういう改正になった。島根県で認められても浜田に来たら認められないということがないように島根県に合わせて、I Tについても変えていくということです。</p> |
| 笹田委員長                            | <p>その他。</p> <p>( 「なし」という声あり )</p> <p>ではこの件については以上とします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <b>(2) 平成28年度</b>                | <b>萩・石見空港利用実績【東京線】について</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 笹田委員長<br>産業政策課長<br>笹田委員長<br>布施委員 | <p>執行部から説明をお願いします。産業政策課長。</p> <p>( 以下、資料をもとに説明 )</p> <p>この件について、委員から何かありますか。布施委員。</p> <p>あと3ヶ月だと思いますが、裏面の27年度実績等を見ると3月に上がっている状況でして、進捗率も当初予定人数の100パーセントに達するのは難しいという思いもあります。いつも思いますが、報告は良いのですが残りの月に浜田市としてどういうアクションを今まで以上に起こすのかを報告してもらわないと、数字だけ出して未達成でしたと、努力は分かりますけども、それに対してどういうアクションを起こすのかもはっきりやっていかないと。空港会社では来年度も2便化が決定したとのことですが、その姿勢が問われると思うんですよ。広域で取り組んでおられるので、そういう報告や浜田市の取り組みを併せて、調査会なのでしっかり、数字的に掴んでおられないこともあるかもしれませんが、ありましたらこの調査会で考え方をお示してください。</p>                                                                                                                        |
| 産業政策課長                           | <p>大変申し訳ございません。今後の取り組みにつきましては年度内において企業周りをさせていただき、利用増加に努めていきたいと考えています。企業様の公務でのニーズが非常に高いとお聞きしていますので、更なる利用促進をお願いして回りたいと考えています。これまでスーパー等の出入り口で啓発活動を年数回行っていましたが、色んな会社へ行ってお話を聞くと、何とか利用に努めているというお話もあるので、そ</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 産業経済部参事       | <p>ういった所を地道に獲得していきたいと考えています。</p> <p>補足させていただきます。去年と比べて今年度は非常に利用者が少ないということで、来年度は次の2便化の判断となる年にもなりますので、そういう意味ではこれからの対策も非常に重要になってきています。先ほど課長が申し上げたように、利用促進協議会内の関係市町でのアウト対策というのを、これまで以上に力を入れていく必要があるかと思っています。併せて、イン対策については関東方面の個人、団体客合わせて多く来ていただくように働きかけ、取り組む必要があるかと思っています。昨年12月には協議会構成市町の首長、議会合わせて、江津市も含めて知事に要望し、その辺の対策を県と一緒に頑張って更に強化していただきたいと要望したところです。いずれにしてもこれからの取り組みが重要になってまいりますので、更なる強化、PRに努めていきたいと考えています。</p> |
| 布施委員          | <p>来年度は2便化に向けての判断と言われましたけど、新聞では来年度は2便化をするということで発表があったんじゃないですか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 産業経済部参事       | <p>来年度が2年目になるので、次の年にどうなるか、次の段階へ向けての判断になる非常に重要な年になりますので、今から利用促進に向けて働きかけていく必要があるかと思っています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 布施委員          | <p>企業は団体客が多かったり出張がある、それは今まで以上にやるべきだと思いますけど、利用者の年代を見てもらったらよく分かると思いますが、20代30代の、勉強や観光のために東京へ行ったりする面がありますが、彼ら彼女らはバスを利用するんですよね、安いし、今は個室付きのバスも出ていますし。飛行機の良さがあまり分かってないんですよね。早得ですか、そういったものや浜田市の助成に対しても全然情報を知らない状態です。若い人の利用促進もしっかりしていただければ、少しは利用率が上がるのではないかという思いがあります。高校生、大学生の利用に特化したような取り組みは考えておられませんか。</p>                                                                                                             |
| 産業政策課長        | <p>若い人への利用促進については、近い所では島根県立大学さんにサポーター企業になっていただき、そちらにも利用促進のお願いをしています。あるいはリハビリテーションカレッジ島根さんにもサポーター企業になっていただいています。若い人の利用は先ほど言われたように、まだまだ認知されていないのが事実だと思います。更なる利用促進をしていきたいと思っています。</p>                                                                                                                                                                                                                              |
| 笹田委員長<br>串崎委員 | <p>その他何か。串崎委員。</p> <p>12月末で搭乗率51パーセント、去年は59パーセントという形で落ちていますけど、提供数ですよ。数字が変わってきているわけですけど、これが大きく率に関係してくるのだろうといったところもあります。これは空港がこうだと提供するんですか。どのように決まっているんですか。提供数の数字はどのように変わって。</p>                                                                                                                                                                                                                                  |
| 産業政策課長        | <p>提供数は1機あたり166名の機材が飛んできています。それ掛けるその月の運行日数ということになります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 串崎委員          | <p>分かったような分からなかったような感じがします。単純に飛行機が一緒ならば提供数が同じ数字になるんじゃないかと思いますが、数字が動いていますし、合計18万と、去年は16万4000人でだいぶ違っています</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

産業経済部長

し、その辺のところはどうも納得いきません。

これは課長が説明したとおりなんですが、季節、便によって機材が変わっておりまして。今、萩・石見空港はエアバス320とボーイング787ですか、多分ボーイングの方が124席の機材を使っている、どちらがどうかは不確定ですが、昼間166で夕方124とか、そういう機材配置をされています。それが一昨年で、今年については機材が大きくなっていて、提供数がすごく大きくなっていて、それをパーセントでされてもなかなか辛いので、乗員実数でカウントして欲しいということで全日空にはお願いして、現在の目標設定は12万、将来的には14万と言われていいますので、それに向けて努力したいということで。議員がおっしゃるように飛行機が大きくなるとパーセントがすごく下がるので、数字が独り歩きしてうちとしては大変辛いところです。

串崎委員

分かりました。もう1点、目標ですね。平成26年度からどんどん上がってきていますが、平成29年分も14万という話も今出ましたが、どのようなことになるんですか。

産業政策課長

目標が確かに毎年上がっていて、現在が昨年の前年比と比べましても少ない状況でして、昨年並みに行けば良いところかなと考えていますが、これは蓋を開けてみないと分かりません。

串崎委員

人口減少の中、色々考えてみますとどんどん目標が上がってくるのは大変厳しい状況だと思っています。来年度はどのような目標になるのかなといった気持ちで。分かれば来年の目標も聞きたいと思ひますし、裏面に予算執行状況が書いてありますが、これは税金部分でいくらいったかという大変大切な部分だと思っています。平成27年の状況も併せて隣に書いていただければ、親切な資料になるんだろうなと感じています。もし分かればお願いします。

産業政策課長

来年の目標についてはまだ具体的に設定はしておりませんが、先ほど言われました若者の利活用について啓発しますとともに、再度サポーター企業さん等をお願いして、更なる利用のお願いをしていきたいと考えています。

笹田委員長

その他。牛尾昭委員。

牛尾昭委員

去年よりも数字が悪いのでびっくりしています。先月でしたか、地元紙が大館能代空港との比較を記事にしておられるのを読んだんですけど、大館能代は昨年の所管委員会行政視察で温泉もやしを見に行くのに、萩・石見空港から羽田で乗り継いで初めて降りた空港です。小さい空港で、こんな所に空港があるのかと思って、強行軍で帰って来たんですけど。そのことが地元紙に詳しく書いてあるんですよ。僕は10年前から言っているんですけど、取り組みは、中心的には益田市がやるべきものだと思いますけど、沿線自治体の首長や議長が集まって何の話をしているのかなと。数字が上がっていないのに。雁首揃えてですよ。僕なんか10年前から益田の空港なんとか局へ乗り込んで行って、益田市は本気でやる気あるんかと言って顰蹙を買ったことがあるんですけど。サポーター企業といったところで所詮知れているわけですよ。ですから2便化を死守するんだという絶対命題があるなら、どういう底上げが必要かというのは10年前から言い続けているんですけど。例えば鳥取県のように小中学校

産業経済部参事

の修学旅行全部飛行機に乗せるとか、そういう基本的なベースをやるべきじゃないかということは10年前から言っているんですよ。では今浜田市の教育委員会がそういうことをしているかという話は所管外なのでここです話ではないんだろうけど、聞いたこともないし実際にやっておられるのか知りませんよ。益田がそういうことをしているかという話も、当時は2、3の学校はしているんだという話は聞いたことあるけど。そのように例えば小中学校含めて、敬老会等も含めて乗せていかないと、この数字を維持するのは難しいと思うんですよ。僕は改めて問うてみたいんだけど、関係市町の色んな人が集まって色んな会議をされるという話だけど、そういう議題が実際にあって議論して今日に至っているかどうかを、最初に聞いておきたいと思います。どうなんでしょう。

先ほど申しあげました県への要望というのを、今年度の今の利用状況非常に低迷しているという危機感から、何とかイン対策を増やしていかなければならないじゃないかというところで、アウトについては関係市町が色々と独自補助や制度を設けたりして頑張っているところですが、イン対策については萩の花燃ゆとか、こちらでの色んなイベントの開催が少なくなった関係で利用者が減っています。そういった意味で関東方面のお客さんに萩・石見空港を利用してこちらに来ていただくためには、島根県の関係市町だけでは限界があるということで、島根県の東京事務所を中心として色んな旅行会社等へ営業活動をしていただき、こちらにお客さんを呼びこんでもらえないだろうかということで、益田市長を中心に関係市町の首長、副市長、中には議員さんも入って県知事への要望を行ったところですよ。これを受けて県では、すぐにああしますこうしますということではないんですけど、人員的なことも含めて検討しているところですよ。イン対策に今から力を入れていくことが、利用者増に繋がるというところから、この対策は非常に重要であると考えていますので、この点、県と一緒に取り組んでいきたいという話の内容ですよ。

産業経済部長

参事が申しあげたように本当に危機感を持ってやっています。議員の皆さまから数字をお示ししてほしいと出ているんですが、平成28年度の補助金申請者数、市民の方が全部載っていますが3075。3075人が浜田から乗っていただいている。それに職員が東京へ行く時は全部萩・石見空港を使ってくださいということも言っている。それで目標の、例えば12万人としても浜田市民の利用者は2.5パーセントくらいなんですよ。実際の割合でいきますと。浜田市民1人でも多くという思いはございますが、倍になったとしても5パーセントです。職員に100人も200人も乗ってもらっていますが、それでも5～7パーセント程度です。12万人や13万人を維持しようと思えば、抜本的な……1万人増やすのは本当に大変なことですよ。根本的なイン・アウト対策両方やっていかないと。今年は大きくインも落ちていますがアウトも減っています。そういう危機感は島根県とも共有して何とかしないといけないという思いですから、皆こぞって東京に行く方は萩・石見空港を使っていただくような形にならないといけない。浜田の場合は高速バスで新幹線というルートもありますし、広島空港というルートもありますし、会社の都合によっては出雲空港や米子

空港の活用まであるんです。萩の方にすれば宇部や岩国も充実しています。そういう環境もあって大変苦勞しているのが現実でして、浜田はこの数字を倍くらいにしないと、将来的には14万人とも言われているんですが、クリアするには根本的な対策を取っていかないといけないと考えています。

牛尾昭委員

話が噛み合っていないと思うんですよ。確かにチケット発券は浜田市においては前年比500人超くらいで頑張っておられる。市民からもありがたいという声は聞くんです。出す時に、沿線と言えば益田もあれば江津もあれば吉賀もあるのだから、どこがどれくらい乗っているのかというデータくらいは出してもらって、どこが弱いのかを含めて見せてもらわないと。今のような答弁は言い訳に聞こえるんですよ。部長や参事が悪いというのではないけど、もう少し正確な現状と情報を知らせてもらわないと、どこが弱いのが分からないんですよ。毎回そうですよ、初めて言うんだけど。いつ出てくるかなと思っていたんだけど。

もう1つ言いたいのは、もう結構乗っているんだけどこれ以上乗せようと思うと、今言うように修学旅行とかの先進事例があるわけだ。もう10年前から言っているんだけど、そういう努力をされているのかどうか。やってなかったらこんな2便化なんて端から無理ですよ。大館能代のことを地元紙が熱心に書いておられたので。自分たちの空港としてなくなったら困るよねというのが日常茶飯事で会話に出てくるレベルじゃないとね。僕らも委員会で去年2回視察に行ったけど、往復は全部萩・石見ですよ。すごい努力をしているんだけど、それ以上の上乘せをしようと思うと、鳥取県のように修学旅行で乗ってもらおうとか、そういう基本ベースを乗せていないと無理だと思うんです。そういう努力をやっておられるかという、基本的な質問を僕は今しているんですよ。色々努力されているのも条件が悪いのも分かるけど、聞いたことには答えて欲しいんです。ついでに言うなら、インが弱いと言われたけど、例えばふるさと納税でインのチケットを観光をパックした商品をあげても良いと思うし、色々な知恵の出し方があると思うんですよ。何だかこのテーマが出るたびに不完全燃焼を感じるんです。このままいけばずるずると、税金を一定期間負担して、目標を達成しないから1便になりましたと。それで良いのかということをもう1回考えないと、悔しいというか、腹が立たないかと思うんですよ。もう少し噛み合うような答弁が出来ませんか。

産業経済部長

大変申し訳ございません。地域別の問題については全日空にもお願いしているのですが、それは一切出せないということでいつも言われています。ただ、そういったのを地元で掴んで行くのは、以前、日曜に職員が空港へ行って聞き取りした際、浜田からの方がだいたい5、6パーセントだったと思います。そういった独自調査をやって対策をやっていくとか。それと萩や津和野についてはタクシー助成等もされているので、そういった人数もまた調べて報告できるのか、検討してみたいと思っています。委員さんが仰るように、浜田市民のためにということですが結局はそれが2便化に繋がらねば、なかなか効果がないのも充分分かっていいますので、全力で頑張ってお取り組みしていきたいと思っています。

牛尾昭委員

ANAが出さないと言ったところで、例えば快適アクセス利用事業の

人数は出てくるわけですよ。当然益田市はこの数字を持っているだろうし、吉賀町も持っているだろうし、江津市も持っていると思います。だからそういう数字くらい出せるだろうと思うんですよ。ANAが出す出さない以前に。そういう分かるだけの数字の羅列が出てくると、どこが弱いのか、どこが攻め足りないのかが読み取れると思うんだけど。沿線の首長や議長は集まって何の話をしているのかなと思って。1人1人聞いてみたいですね、結果が出てないから。

それと、何回も聞くようだけど、答えにくいんだろうけど、あれだけ言っている修学旅行を飛行機に乘せるという話は、したのか、して断られたのか、駄目なのか、してないのかということも含めて話してもらわないと。今までずっと見過ごしてきたけど、もう1年しかないわけでしょう。こんなことで良いのかということ、所管委員会だからあえて僕は言いたいんですよ。いわゆる核心をかわしたような答弁では、これだけ税金を突っ込んでいるわけですから、はいそうですかというわけにいかないと思うんですよ。僕の質問がおかしかったらやめるけど。僕の質問が的を得てなかったら委員長、指摘してもらって僕は質問をやめたいと思うけど。どうも承服できないんですよこんなことでは。だから議会は慣れ合いだと言われるんですよ。休憩を取っても良いからその辺について答弁が出来るようなことをしてもらえませんか。お願いします。

答弁できますか。はい産業経済部長。

まず1点目。地元の修学旅行の件は教育委員会に持ちかけて話をした経緯はございました。今現在のところで話をきちんとして持っていっているのかどうかは、やっていません。修学旅行の件ですが、東京に行ってくださいということで、東京をターゲットにした旅行で尚且つ調整が出来たらということでお願いしたんですが、子どもさんの希望や時期的な都合が合わずに東京を選んでいただけなかった経緯があり、実現はしなかったとご理解いただきたいと思います。引き続き修学旅行の可能性については教育委員会とも改めて話をさせていただきたい。

もう1つの数字の件ですが、浜田の数字、あと色んな状況で萩・石見を使った沿線市町の出せる数字については、まとめていきたいと思っています。

それから大きな課題ですが、協議会総会ですね。萩市さんの担当者ですとか、やはり島根県益田市がかなりの部分を担っておられるわけですが、浜田からも行きましてこの対策会議は旅行会社も含めて、担当者レベルではあるんですがそういった面では本当にどうしたら良いか、イン対策というのは島根県で言えば東京事務所の協力を仰いだり、旅行会社にパッケージを組んでもらうとか、そういったことについては全力で取り組んでいるところです。その話し合いも充分しています。ただそれが数字として目に見えてこないというところで、委員さんが仰るようにジレンマを感じるのは我々担当職員も同じですので、そういった点はご理解していただきたいと思います。

最後にしたいと思います。部長の言われるようなことなんだろうと思います。だからこの結果なんだと思います。修学旅行がハードル高いのは分かっているんです。でも鳥取県は色んなことを県教委が説明しなが

笹田委員長  
産業経済部長

牛尾昭委員

ら、だから乗って欲しいんです乗ってくださいとお願いしているわけですよ。そういう努力が子ども達にも伝わるような、萩・石見空港の存在価値も含めてそういう話をしていけば、それなら何年に1回は萩・石見を使って行こうかという流れに行くと思うんだけど、そういう所が見えて来ないというのがジレンマとしてありますよね。

僕が大館能代に初めて降りて思ったのは、萩・石見以上に鄙びたと言えば失礼なんだけど、でも利用率高いんですよ。たまたま地元紙が書いていたからそのことが分かったんだけど、あそこでそんな努力をして結果が出ているのに、なぜ萩・石見は出ないんだろうかは、今言ったように色んな原因があるだろうけど、努力が足りないと思うんです。それぞれば努力しているだろうけど、それ以外の所の努力を求めないと数字が乗らないと思うので、例えば修学旅行是非お願いしますと。なぜ乗らないといけないかをちゃんと説かないといけないし、例えば敬老会に補助金を出して乗ってもらうのも1つの方法なんだろうなと。それを大館はやっている。

それともう1点。ふるさと納税を使ってイン対策をどこかの会社にやらせよう。返礼品としてチケットとプラス観光を載せていく、そういったアイデアも必要なんじゃないかと。この際もう1年でなくなると思えば、どんな手でも使わなきゃいけないんだろうと思うんです。先ほど言ったようにもう1年待って1便になりましたといたら、今までつぎ込んできた人的努力と税金の金額はすごい金額でしょう。だからそうならないように色んな努力をすべきだと思う。当然議会側も努力しなければいけないし、僕らができることと言えば常任委員会の視察には100パーセント萩・石見を使う。個人でも使うことが科せられると思うんだけど。その辺がどうも空回りしている気がする。これ以上言いませんが、この程度のアイデアしか僕はないけど、もうちょっと努力して結果が出せるところまで目指して欲しいと思います。この件についてはもう答弁は結構ですので、よろしくお願いします。

笹田委員長

その他何か。

( 「なし」という声あり )

ではこの件については以上とします。

### (3) 地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)について

笹田委員長

執行部から説明をお願いします。産業経済部参事。

産業経済部参事

( 以下、資料をもとに説明 )

農林振興課長

( 以下、資料をもとに説明 )

笹田委員長

この件について、委員から何かありますか。串崎委員。

串崎委員

儲かる林業の1番、4月1日から職員1人確保とお聞きしましたが、これは経験者ですか、素人の方ですか。

農林振興課長

前もお話したことがあります、匠塾で専門的に勉強された卒業生を予定しています。

串崎委員

分かりました。ということは今回2人目という形になるわけですね。

もう1個、3番目に「森に触れることによる人材育成」、これは話を聞けば子ども中心の育成という形でよろしいですか。

農林振興課長

この人材育成は社会人ではなく、これからの時代を担う子ども達、特に小学生中高学年あたりを予定しています。

布施委員

前に「豊かな海づくり大会」の時に、今言われたように「森は海の恋人」だとかいうキャッチフレーズがあって、漁民の森団地が第2ダムの先にあったんですが、小学生が植樹祭等をしたって賑わっていましたが、今は直接管理される方が亡くなられてそういう状態ですが、数年前まで原井小学校の4年か5年生の子が植樹して、自分らが植えた木がどのくらいになっているのかという体験的なものをしていました。教育委員会部分かもしれませんが、そういった事業はいまだに数年おきに継続されているのでしょうか。それがなくなったから新たにこういったものでやろうとしているのか、伺います。

農林振興課長

海づくり大会にて植樹した時、私も最初から関わっています。その事業自体は当初国の補助があったりしてやっていましたが、今はそれがありませんので県からいただいています。合併を機会に各自治区で、内容的には同じで植樹をしています。浜田の子が金城の山に行くというのは少ないですが、各自治区の子ども達に植林体験をさせている。名称は変わっていますが内容は同じことをずっと続けてやっています。

笹田委員長

その他。  
( 「なし」という声あり )  
ではこの件については以上とします。

#### (4) ふるさと寄附について

笹田委員長

執行部から説明をお願いします。ふるさと寄附推進室。

寄附推進室長

( 以下、資料をもとに説明 )

笹田委員長

この件について、委員から何かありますか。串崎委員。

串崎委員

気がついた所だけ申し上げておきます。この資料どこまで提出されるか分かりませんが、2016年人気返礼ベスト10、1番と3番はのどぐろ一夜干しで、お店の名前が出ています。これはPRでそれはそれなりに良いと思いますが、もし載せるなら10番までの会社名を載せるとか、載せないなら載せないという形で。どこに出るか分かりませんが1つのPRにもなるなら整理された方が良い感じがしました。

それとリピーター対策の所の10回目ですか、寄附金の使い道を出されたとのことですが、これは上の段の使途部分を出されたのか、それとも右欄の高齢者運転免許返納支援を開始したといったようなことを出されたのか。どんな内容を出されたのでしょうか。

寄附推進室長

人気返礼品ベスト10については1番と3番が同じ商品であったことから各会社名を記載していますが、全ての会社名を載せた方がPRになるというご意見をいただき、そのとおりだと思いますので、このような資料を作る時は極力会社名を記載していくよう考えています。

それからメルマガの使途のPR内容については右側に書いてあります。今回ふるさと納税を活用して運転免許返納支援事業を行いましたということで、この事業のPRをさせていただいています。

名前の件については内部で検討した上で方針を決めさせていただきたいと思います。すみません。

笹田委員長

他に。  
( 「なし」という声あり )  
ではこの件については以上とします。

#### (5) 漁業別水揚げについて

笹田委員長

水産振興課長

笹田委員長

執行部から説明をお願いします。水産振興課長。  
( 以下、資料をもとに説明 )  
この件について、委員から何かありますか。  
( 「なし」という声あり )  
ではこの件については以上とします。

#### (6) 浜田市緑の基本計画(案)のパブリックコメントの実施について

笹田委員長

建設企画課長

笹田委員長

串崎委員

建設企画課長

笹田委員長

原田委員

建設企画課長

原田委員

建設企画課長

原田委員

建設企画課長

笹田委員長

執行部から説明をお願いします。建設企画課長。  
( 以下、資料をもとに説明 )  
この件について、委員から何かありますか。串崎委員。  
目的の中所に、総合交付金の交付を受けるためにとありますが、最終的にどのくらいの金額を想定しておられますか。  
公園の関係で概略数字が出ていますが、総事業費が約4億4000万くらいで、細かく言いますと用地買収は用地費の3分1、その他ハード整備については50パーセントの補助率です。今手元に数字がないため具体的には言えませんが。  
3カ年の整備期間ですが、約1億7000万の交付金をいただく予定としています。  
その他。原田委員。  
3番の計画項目については前も話があったのかと思いますが、これはどこが作成するんですか。費用はどれくらいかかるのか、予算化してあるのではと思いますが、再度確認させていただきます。  
緑の基本計画にあたっては今年度平成28年度で予算がついており、春先に業務委託で発注させていただいています。約1000万弱の予算をつけていただき現在進行中です。  
もう既に取りかかっておられるんですか。  
はい。もう既にそういった案をもって、策定委員会も次回3回目が開かれますので、成果の段階でその資料を用いる予定です。  
この計画を作っていただくわけですが、このことについては浜田市の考え方も入れた計画を作っていると思いますが、その辺はどうなんですか。  
この緑の基本計画については先ほど目的もお話させてもらったところですが、当然ながら第2次浜田市総合振興計画を一番基にして、都市計画マスタープラン、浜田市環境基本計画、浜田市景観計画と連携や適合も確認しながら進めています。  
その他ございますか。  
( 「なし」という声あり )  
では休憩したいと思います。11時20分から再開します。

〔 11時 14分 休憩 〕

〔 11時 20分 再開 〕

**（７）JT跡地活用公募型プロポーザルの審査結果について**

笹田委員長  
建設企画課長  
笹田委員長  
牛尾昭委員

執行部から説明をお願いします。建設企画課長。

（ 以下、資料をもとに説明 ）

この件について、委員から何かありますか。牛尾昭委員。

開発公社でも絵を見せていただきましたが、信号の前からこのエリアに入る動線がありますよね、ここいつも結構車が並んでいるんだけど、こういう動線で交通事故等は大丈夫なんですか。救急車も多分この右折ラインに入っていくから、それか手前かな、動線を心配するんですが、プレゼンの中ではそういう話はなかったのか、または質問されなかったのか、お伺いしておきます。

建設企画課長

この施設への入口としては、9号線に面している部分から2ヶ所。少し映っていますが入口・出口みたいな格好で2ヶ所挙げています。それと交差点を松原小学校方面へ入ってすぐ左折で入るような、一応3ヶ所を計画しておられるようです。ですから一応分散をさせて出入りしようと説明しておられたように思います。

牛尾昭委員

ですから、僕はよくここを走るんですけど、向こう側からも来るし山側からも車が出てくるし、ここは右手前から左折しようと思うと対面から車が来る時にちょっと危ないなと思うことは何度もあるんだけど、そこで左側のうどん屋さんへ入る入口とか、直進また右折の、この辺は朝晩以外にも混んでいるので、こういう動線で大丈夫なのかなと、自分が走っていて思うんですけど。プレゼンの絵そのものがどうこう言うのではなくて、ここ結構渋滞するのでその辺の心配というかカウントというか。点数とは関係ないんだろうけど新たな施設が出来ると動線について色々問題があるじゃないですか。かつて周布のジャスコを作る時にあのカーブは大丈夫かといって、あそこで死亡事故とかがあるので、やはりこういう施設を作る時には市民の安心安全をカウントしないと、レイアウトによっては今以上に交通事故が起きることも想定されるということは、充分行政側の判定委員がお考えになって点数をつけられるべきだと思うんだけど、そういう議論は判定委員会の中でなかったんですかね。

都市建設部長

うどんの茶色い建物が真ん中にありますね、ここからはプロポーザルの中ではインのみ。アウトは左側のラーメン店の所から出るような誘導を考えるとのことでした。食料品については基本的に松原小学校の方の交差点に入ってから入るということで。そういう誘導をするとのことでした。

牛尾昭委員

分かりましたが、ここへダップスさんが移転されると聞いていますが、そんな動線なら売上は相当落ちますよね、どう考えても。絵は良いと思うんだけど、買い物客の利便性を考えたらどうもこの絵は違うのかなと。絵そのものが不味いではなくて、動線について、買い物する人は向こう側を大回りしてはるやまの裏を通って入るということを部長は言われたんだろうけど、そうではなく対面から……あそこすごく複雑ですからね。まあ良いです、絵そのものは問題ないけど僕はただ、この動線では

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 都市建設部長 | <p>必ず事故が起きるような気がします。</p> <p>そのご心配は当然あるかと思います。事業者側としてもこの辺の形、道路線形等の問題がありますので、例えばオープン時や年末年始、バーゲン、大売り出し、そういった日にはきっちり誘導員を配置して誘導に努めるというプレゼンを受けていますので。最初の間は戸惑うこともあるかと思います。利用者の方々は普段ショッピングセンターを利用される方については、だんだん実情をご理解いただいて慣れていただくのかなと。その他の、外部からのお客さんにつきましては、元々J Tの入口がありました、こちらの左側の方からと、うどん屋の前から出入りされて利便性が高まるのではないかと考えています。</p> |
| 笹田委員長  | <p>その他。</p> <p>( 「なし」という声あり )</p> <p>ではこの件については以上とします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                             |

## (8) 市道路線等の現地視察について

|       |                   |
|-------|-------------------|
| 笹田委員長 | この件については終わっております。 |
|-------|-------------------|

## (9) 瀬戸ヶ島埋立地における水産事業実行可能性調査の中間報告について

|                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 笹田委員長<br>地域PRJ推進室長<br>笹田委員長<br>牛尾昭委員 | <p>執行部から説明をお願いします。地域PRJ推進室長。</p> <p>( 以下、資料をもとに説明 )</p> <p>この件について、委員から何かありますか。牛尾昭委員。</p> <p>昨年から市内金融機関から浜田市へお出かけにいただいている来原さんに、この計画に対する見解を多分お持ちだろうと思うので、ちょっと教えていただけますか。</p>                                                                                                                                                                                                                             |
| 産業経済部企画官                             | <p>中間報告を見させていただいています。実際金融機関の見方は先ほど説明があった最後に、設備投資をどれだけされて、どれだけの収益が出るのか。もう1つは事業体です。どこの事業体がどのようにされるのか。この2点が一番のキーワードではないかと考えています。まだいただいた資料の中では、設備計画や売上計画といった中身がまだはっきり出てきていないと理解しているので、その辺を精査しながら実現性が高いということであれば、それなりに私は評価していきたいと思っています。</p>                                                                                                                                                                 |
| 牛尾昭委員                                | <p>金融機関の方の視点がある程度伺っておかないとなかなか質問しにくいなと思ひまして。今日初めて見たんですが、全般的に非常に良く出来ているなど。実現可能かどうかは別にしても非常にうまく作られていると思います。ただ、いま室長からも説明のあった蓄養の餌どめとか、短いサイクルで加工に回すというような話がありましたが、その考え方は、江崎の蓄養はある程度ロングタイムで蓄養しながら、市場価格の一番良い時に出荷しているのが江崎の実態なんですね。ですから僕の拙い経験則ではこの計画が膨大なためはかりきれないが、蓄養に重きを置くとの説明だったので、そうすると蓄養で餌止めして短いサイクルで出していくということは、現行そういうことをおやりになっている日本の蓄養の現状から言うと、素人考えではありますがちょっとマッチングしないような気がするんですね。それについてはどのようにお考えでしょうか。</p> |
| 地域PRJ推進室長                            | 出荷の調整機能というのは原魚を仕入れるところと、商品を冷凍して                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

ストックしておく、その2段階があると思っています。他市の詳細な例が分かりませんが、瀬戸ヶ島埋立地の水面が、漁業権が設定されているということで、環境への負荷の影響を第一に考えないと漁業関係者のご理解をいただけません。従いまして今のところ中間報告ではありますが、養殖の他産地で作られたものを持ってきて、なるべく浜田の海を汚さない形で加工に回していくことを基本に置いてやろうと、今のところ考えています。

牛尾昭委員

事例のあった数社の場所と工場の距離って多分近いんですよね。全部が全部そうじゃないけど、九州とか四国は結構カンパチなんか生産していますから、四国だったらわりに瀬戸内海からすぐ行けるというような、立地的には非常に搬送にコストがかからない所でやっておられるので。報告書を見てもやはり立地産業なんだろうなと思うわけですよ。そうすると、そういう立地と比べると浜田市はどうもそうじゃないと感ずるので、このペーパーを見て地元業者もしくは県内業者でも良いんですけど、浜田でこういうことをやってみようという気になるような報告書にこれが見えるかどうかポイントだと思うんですよね。いま金融機関の人も言われましたけど、その辺がすごく、優等生的な報告書をあげてこられて、すごいなと思っているんですけど、この地で実現可能なプラントが出来上がるのかなというのが、僕程度の頭では描けないような気がしまして。当然市が出資するわけではありませんから民間活力をとということなんでしょうけど、これから業界に説明していかれるんでしょうけど、産地と離れていて運送コストがかかるといった初歩的な点は、今後どのようにクリアされようとしているのか、それについてだけお伺いしておきたいと思います。

地域PRJ推進室長

事例のいくつかでもありますように、養殖のブリの中心は四国や九州になります。これを三重や和歌山まで漁船で引っ張ってそこでも事業が成り立っているというのと比較すると、浜田の立地が四国や九州地方、特に大分が中心になると思いますが、そこから近いというメリットもございます。従いまして冬の日本海の活魚船の運搬がどの程度かということはあるんですが、今の所可能性としては事業は見込まれるんじゃないかということで、これからその辺りの経費等の細かなものを精査して、最終的な報告書をまとめていきたいと考えています。

笹田委員長

その他ありますか。私も質問したいのですが一般質問でやろうと思いますので、その時お願いいたします。

## (10) その他

笹田委員長

その他、何かありますか。

( 「ありません」という声あり )

はい、ないようなので執行部については終了します。

では今回の件を全員協議会の場でどうするか決定したいと思います。

(1) 資料のみ

(2) 資料のみ

(3) 資料のみ

- よろしいでしょうか。  
( 「はい」という声あり )  
はい。以上で議題1は終わりたいと思います。

笹田委員長  
原田委員

産業經濟部参事

原田委員

産業經濟部参事

原田委員

17

ギャップから、市民から非常に不信感を招いています。何故あそこに向かって大きなお金を投資しながら片平では枯れているじゃないかと。そういう所を手厚く支援するような方策も行政として考えていくべきじゃないかなと、私もそのように思っています。執行部としてどのように考えておられるのか、案があれば。29年頃にバタバタしても仕方ないと思うんですよ、まだ増えると思いますので。周辺が寂れてくると当然、この浜田市街地も経済の縮小になってくるということが、当然考えられるわけですので、その辺のところしっかり押さえていってもらわないと困るのではないかと思います、何かコメントありましたら。

農林振興課長

原田委員が仰るとおりの状況にあると認識しています。基盤の関係ですが、これは仕方がないんですが受益者負担増もいくらかありますので、その辺りは県の補助や市の補助を上手に使ってやっていこうと思いますが、一気に全部の圃場基盤をやり直すのは難しいところです。今は田橋、横山の圃場整備が終わった部分については、暗渠をやり直す事業に着手していますので、徐々にやっていきたいと思っています。それと家族労働については、今まで取り組んできた集落営農によって農地集積していく方法しか、とりあえずないのかなとはっきり申し上げておきます。ただそうは言いながら、地域づくりと農業づくりは車の両輪であると考えていますので、産業づくりばかりでなく地域の自治会等も協力していただくような形を今後考えて、自治会は自治会、農家は農家という形ではなく協働でまちづくり農業づくりをやっていこうというようには考えています。

原田委員

分かりました。ここであまり言っても結論が出るわけではありませんけれども、農業が崩壊すると集落そのものがなくなっていくと思います。その辺を充分、執行部の方は頭に入れていただいて、これは何度も何度も言っていることでよく分かっていると思いますが、その辺をでは具体的にどのようにすれば良いのかという点を、充分検討していただきたいということをお願いしておきたいと思います。

笹田委員長  
牛尾昭委員

その他。牛尾昭委員。

今年になってから特に言われているのが、先日旭町の梨園の荒廃した所を視察しました。つい先般は西条柿生産組合の皆さんとお話する中で、僕も農業詳しくないんですが、向こう10年の中でちゃんと後継者を作っていないと柿園はもうほとんど駄目だよというお話がありました。何とかしないといけないんじゃないかなと。今日本全体的に人口が減っているわけで、農業に限らず商工業にしてもそうですが、人を募集しても集まらないという中で、いわゆる農業候補者については例えば定年帰農であるとか色々言われているけど、今真剣に取り組まないと大変なことになるんじゃないかという指摘を受けたので、やはりその辺は原田委員と重なる部分があるんですが、しっかりやっていただきたいと。僕の知っている人は定年して横山の方で柿園作っておられるんですね、柿が好きだということでご夫婦でやっておられます。そういう事例もあるので、若い人に柿作れといっても柿で飯が食えるわけないから、梨で飯が食えるわけないからという話をこの間聞きました。そうすると一方で仕事を持ちながら、一方で例えば年金というベースを持ちながらそういう所へ

入っていくのは、そういうマインドを作っていくような仕掛けをしていかないと、とても若い人に新規就農だと言ったところで、中には居るでしょうが幻みたいなものですね。最近そういう気がするし、この言葉は西条柿の生産組合の会長さんから、若者にやれと言ってもそれは無理だよ、だから60歳で定年した人が進んで第2の人生は年金と柿を育てる、梨を育てる、そういうマインド情勢を市はやるべきではないかと言われました。それはそのままお伝えしたいと思います。

もう1つは、市内商店街や企業含めて、人を募集しても人が来ない。実際そういう話を聞いています。私の知っている人でも廃業された方がいらっしゃいますし、儲かっている人も人があつまらないから廃業しますという方もいらっしゃいます。今なら辞められると。折角築かれたものももったいないですよ。今会議所の中でもいわゆる事業承継専門の担当職員が週3日おられます。ですからマッチングだと思うんですよ。事業承継というものがあるんだと知らない人が山ほどいるので、そういうことも含めて、それが市の仕事か会社の仕事か分かりませんが。ちゃんとした職があるよ、儲かっている業種はあるけど後継者がいないから引退するんだという所はもったいないわけです。そういう所へ事業承継で繋ぐわけですから。そのシステムが外から見れば出来ているけど、まだ血が通っていないということがあるので、それは市の仕事だろうと思うので、先ほどの第一次産業も含めて、次年度是非総合的にやっていただくようなことを、所管部で是非考えていただきたいと。中村部長はご勇退されるので出来れば残って今のようなことをしていただければと思うんですがね。是非これは本当に、そういうことをやっていかないと。世間一般では賢く縮むと言っているけど、どう縮めばいいんだという方法論は皆あまり示さないんですよ。だからそういう所を少しずつ積み上げてもらって、小さい所から輪を広げる努力を経済部ではしていただきたいと思います。

笹田委員長

その他ありますか。では執行部の皆さんは退席されて結構です、お疲れ様でした。

#### 《 執行部退席 》

牛尾昭委員

その他、委員間で何かありますか。牛尾昭委員。

今年10月が任期で、選挙になりますので常任委員会の視察をなるべく早めにやった方が良いでしょうがしています。早め早めの予定の方が上手く行くのではないかと考えています。ちなみに広報広聴委員会は4月19、20、21日が決定して相手先も決まっています。産業建設委員会も5月の例えば連休明け、井戸端会開けくらいがちょうど皆さんもご都合が良いのではないかと感じたりします。提案ですが、開府400年だけではないけど、館林という所をなんとか攻め落としたいなと思っていて。それから広葉樹の関係、飛騨高山のオークビレッジも是非行ければ良いかなと。一案ですけど。その2ヶ所へ行くとだいたい2泊3日でちょっときついくらいです。そういうことも出来れば検討させていただければと思っています。今日出来れば日程くらいは、この辺でどうだろうかというくらいが

笹田委員長

もし決定した方が、後々皆さんの予定も組みやすいのではないかと思います。ですが委員長いかがでしょうか。

ご意見ありましたが、5月の連休明け、週で言うとどれくらいになるのでしょうか。

( 「15日の週」という声あり )

布施委員

日程的にはそれでいいのですが、牛尾昭委員が言われたように館林はずっとアプローチをかけていたのですがなかなか日程が合わなかったわけなので先に館林の日程を確認をしていただければと思います。

笹田委員長

その週のところで、館林さんが合うところで計画してもらってよろしいですか。皆さんよろしいですか。

( 「はい」という声あり )

では15日の週で館林さんがOKの日を中心に考えて日程を組むということで、よろしくお願いします。オークビレッジもいつもお世話になっている所ですし議長もお勧めの所なので、はい。

よろしいですか、他に何かありますか。

( 「なし」という声あり )

ではこれで産業建設調査会を終了したいと思います。

[ 12 時 15 分 閉議 ]

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

産業建設委員長 笹田 卓 印